

NEC田んぼ作りプロジェクト（上太田）レポートVOL. 30

切り出した竹をチップにして有効活用しました！

2 / 16 : 達人コース復田その3

2013年 3月 1日

2月16日（土） 夏の達人や秋のイベントで運び出した竹をチップ化しました

みなさんは、全国各地で里山が手入れされていないために、竹林が広がっていることをご存じですか？

右下の写真のように手入れが行き届かない竹林では、草花や林床を利用する生き物たちが減少し、谷津田全体の生態系が悪化してしまいます。このプロジェクトでは、竹林の対策にも取り組んでいます。



12.07.08 達人 倒竹の撤去



12.11.10 脱穀イベント時

竹林の環境を良くするために、昨年7月の達人コースや、11月の脱穀イベントの午後に、竹林から倒竹を運び出す作業を行いました。その、竹林の横に大量に積み上げられた竹を有効活用しようと、達人コース6名の参加者とチップ化の作業を行いました。竹を焼却しないでチップ化を行うことによって、二酸化炭素の排出抑制はもちろんのこと、抑草効果や土壌の流出防止、土壌細菌の活性化、ヒーリングなど、多様な効果が期待できます。



上太田の田んぼの近くにある「牛久産機」より、竹チップパーをお借りしました！

オペレーター（白ヘルメット）より、操作方法の説明を受ける達人さん達



次から次へと、竹を機械に投入します。乾燥した竹は粉じんが多く舞い上がり、また土が着いたままのものからは、砂ぼこりも発生して大変な作業になりました。ヘルメットに、ゴーグル、マスクやタオルを着用しています。



大量の竹を運び出す作業は、とても重労働でした。また、投入口へ竹を入れる人は、竹の粉と戦いながら、安全にも注意しないといけないので精神的にも疲れる作業となりました。

その後、出来上がったチップを、昼食広場に運んで敷きました！





Before



積み上げられた竹

After



きれいに片付けました！

昼食広場に、ふかふかの竹チップじゅうたんが出来上がりました！

定例調査からの一コマ



タカの食痕がありました。食べられたのはキジバトのようです▽



△タヌキのフンが見つかりました！木の実がいっぱい



それではまた次回、田んぼでお会いしましょう。

認定NPO法人アサザ基金 小堀進